

土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときは地面が崩れやすくなり、雨が崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害が起こることがあります。土砂災害から自分を守るためには家の周りに危ないところがないか確かめてください。また土砂災害には前兆現象(災害が起こる前に表れること)があります。下に書いてあるような前兆現象が起こったらすぐに逃げてください。

土砂災害の種類には大きく分けて3つの種類があります。自分の周りの土砂災害危険箇所(土砂災害が起ころすようなところ)がどの種類なのか確かめておいてください。

くず がけ崩れ	どせきりゅう 土石流	じ 地すべり
<p>地面にしみこんだ水によって斜めになっている地面が急に崩れ落ちる現象です。急に起きるため家の近くで起きると逃げ遅れる人が多く死んでしまう人が多くなります。</p>	<p>雨が長くふったり短い時間でもたくさん雨がふると山や川の石と砂が水と一緒に急に川の下の方に押し流される現象です。</p>	<p>雨がたくさんふったり長い時間ふったりするときに水の力によって持ち上げられた地面の広い範囲がゆっくり動きだすものです。</p>

こんなときは気をつけてください 土砂災害の前兆現象

ごかん 五感	うご 動くもの	くず がけ崩れ	どせきりゅう 土石流	じ 地すべり
視覚(目で見る)	やま 山	<ul style="list-style-type: none"> がけに割れ目が見える。 がけから小石が落ちる。 斜めになっている地面がけ 	<ul style="list-style-type: none"> 川の近くの地面が崩れだす。 石が落ちてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地面にひびが入る。 地面がへこんだり盛り上がったりする。
	みず 水	<ul style="list-style-type: none"> しみこまない水が地面の上を流れる。 がけから水が噴きだす。 湧水がにごる。 	<ul style="list-style-type: none"> 川の水がにごる。 雨がふっているのに川の水が少なくなっていく。 土や砂が流れてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 川や井戸の水がにごる。 斜めになっている地面から水が噴きだす。 池や沼の水が少なくなる。
	き 木	<ul style="list-style-type: none"> 木が傾く。 	<ul style="list-style-type: none"> にごった水と一緒に木が流れてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 木が傾く。
	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> 川の中に火花が見える。 	<ul style="list-style-type: none"> 家や土を支えるための壁にひびが入る。 土を支えるための壁や電柱が傾く。
おと 音	—	<ul style="list-style-type: none"> 木の根が切れる音がする。 木がゆれる音がする。 地面から音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地面から音がする。 山から音がする。 転がる石がぶつかり合う音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 木の根が切れる音がする。
におい	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 腐った土のにおいがする。 	—

※これらはすべての場所で必ず起こるものではありません。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害防止法で決められているところには土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の2つがあります。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
 斜めになっている地面が崩れたときに住民などが死んだりけがをしたりするかもしれないところ。ふだんから逃げる準備をしておくことが必要です。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
 斜めになっている地面が崩れたときに建物が壊れて住民などが死んだりけがをしたりするかもしれないところ。家などを新しく建てるできません。